第３学年　国語科　学習の指針（ シラバス ）

１．教科の目標

（１）社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

（２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

（３）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

２．学習計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
１学期	春に	・言葉の中の春を読む。
	立ってくる春	・文章の種類を踏まえ，その展開の仕方に着目して，筆者の個性的な考えを捉える。
	なぜ物語が必要なのか	・文章の種類と特徴について理解を深める。 ・知識や経験と結びつけて文章を読み，内容を評価する。
	一言でまとめ一言から広げる	・言葉の意味を把握し，具体的なできごとを考える。
	私	・読書が自分と社会との関わりを支えている，ということを理解する。 ・文章を吟味して読み，文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 ・作品を読み，人間，社会などについて思いを巡らせ，自分の意見をもつ。
	薔薇のボタン	・目的に応じて本や文章などを読み，知識を広げたり，自分の考えを深めたりする。
	構成を考えて主張をまとめる	・社会生活の中から自分で課題を見つけ，主張をまとめる。 ・自分の立場や意見を明確にし，論理の展開や話の構成を工夫する。
	具体例をもとに説明文を書く	・具体的な事例をもとに一般的な特徴を導く。 ・読み手に説明するために構成を工夫する。
	ﾒﾃﾞｨｱ･ﾘﾃﾗｼｰはなぜ必要か？	・メディア論の基本について理解を深め、情報の信頼性を吟味する。
	説得力のある批評文を書く	・資料を比較して，自分の考えを整理する。 ・伝えたいことを明らかにし，説得力のある文章を書く。
	新聞が伝える情報を考える	・新聞を構成する情報について整理し，それぞれの効果について考える。 ・社説を比較して読み，内容の特徴を理解する。
	四字熟語	・四字熟語についての理解を深める。
	呉音・漢音・唐音	・漢字の音の歴史についての理解を深める。
	助詞のはたらき	・助詞のはたらきについて理解する。
	和語・漢語・外来語	・和語・漢語・外来語について理解し，効果的に使い分ける。
	熟字訓	・熟字訓についての理解を深める。
	慣用句・ことわざ	・慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。

2 学 期	ＡＩは哲学できるか	・「哲学」など，筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ・事例や主張が適切かを考えながら読む。 ・文章の内容について検討したり，吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え，自分の考えを述べる。
	async/問いかける言葉	・事例と主張とを関係づけて読む。 ・文章を比べ，評価しながら読む。 ・社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。
	助動詞のはたらき	・助動詞のはたらきについて理解する。
	相手に対する配慮と表現	・場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。
	ニュースで情報を編集する	・ニュースを構成する情報について整理し，効果について考える。 ・ニュースを構成する情報を，目的にそって効果的に使う。
	実用文を読む	・実用文の特徴を理解し，社会生活の中で生かす。
	旅への思い	・情景や心情について話し合ったり，古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ・歴史的背景に注意しながら読み，文章の特徴を理解する。
	和歌の調べ	・古人のものの見方や考え方について話し合い，自分の考えを深める。 ・和歌の技法や歴史的背景を理解しながら，歌のリズムを味わう。
	風景と心情	・歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え，心情を理解して考えを深める。 ・詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し，作品の響きを味わう。
	最後の一句	・わが国を代表する作家とその作品についてふれる。
	異字同訓	・異字同訓についての理解を深める。
	俳句の味わい	・言葉の意味を掘り起こして読む。
	書写（書初め）	・行書の筆遣い、流れに注意し、作品を完成させる。
3 学 期	初恋	・表現上の工夫に注意して，暗唱する。
	故郷	・理解や表現のために必要な語句の量を増やし，使用する。 ・一人称の語り方について理解し，作品の表現の仕方を評価する。 ・「希望」について考え，人間，社会などについて自分の意見をもつ。
	自己 PR 文を書く	・読み手を意識して，適切な言葉を選ぶ。 ・読み手の助言を踏まえて，よい点や改善点を理解する。
	表現の工夫を評価してスピーチをする	・相手や場に適した言葉でスピーチをする。 ・場の状況に応じて，伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。
	持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える／生命とは何か／地球は死にかかっている／水の星	・持続可能な社会の実現に向けて，自己変容を通じて未来を考える。
	意見を共有しながら話し合う	・相手の考えを評価しながら，自分の考えを広げ深める。 ・話し合いの進行の仕方を工夫して，合意形成を行う。

	情報をまとめて作品集を作る バースデイ・ガール 青春の歌 やわらかな想い	・自分の文章の収集と整理をする。 ・学習を振り返り，読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。 ・自分の読書生活を振り返り，さまざまな本や文章を読む。 ・筆者の考えを理解する。 ・「言葉」と「想い」の関係について自分の考えを持つ。

3. 評価

項　目	評　価　の　内　容	評　価　の　方　法
知識・技能	言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化についての知識及び技能を習得しているか。それらを関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できるか。	○　テスト
思考・判断・表現	知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な「話す力・聞く力」、「書く力」、「読む力」を身に付けているか。	○　テスト ○　授業課題（ワークシートや作文課題等） ○　発表や話し合い活動、グループワーク
主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか。	○　ワークシートの記述 ○　提出課題 ○　発言やグループワークの取り組み等 ○　自己評価・相互評価 ※　「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で評価を行う。

4.「確かな学力」のためのアドバイス

・知識及び技能の習得に結び付くよう、学習の進め方を工夫してください。
・わからない言葉の意味を調べ、理解した上で、普段から話や文章の中で積極的に使うことを意識してください。
・普段から文章を読んだり書いたりする際は、論理の展開を意識してください。
・本や新聞を読んで、文章に慣れ親しんでおくことも大切です。